



hida

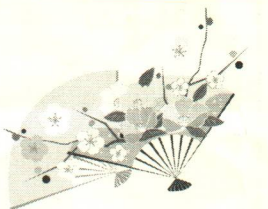
広報

ひだ

町木



第36号

肥田町
まちづくり委員会
H17.1.1発行

年頭にあたって

自治会長 薩摩正平

新年、明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えの事と心からお慶び申し上げます。昨年中は、自治会活動につきまして格別のご理解とご協力を賜り、誠に有難うございました。心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、世界の平和と安定への願いも届かず、ロシアの学校占拠事件、イラク戦争終結後の

書知事松國

武装勢力との戦い、各地で起きる内戦とテロ事件、中国の原子力潜水艦の領海侵犯、北の核、拉致問題と今や地球規模で不安定な時代に入ってきているような気がします。また、原油価格の高騰は、我々の日常生活を根底から揺るがすようで、先行き不安定なままです。これらの問題が、一日も早く解決され、心豊かで平和な日々が来る事を願わずにはいられません。国内では、長引く不況に追い討ちをかけるように、集中豪雨、相次ぐ台風及び地震などの自然災害が日本列島へ襲いかかり、国家の危機管理能力を超えた大災害となってしまいました。これにより多くの人が犠牲になられ、被災されました。この人たちの事を思うと胸が熱くなります。心からお見舞いするとともに、一日も早く復興される事を念じております。幸い、我々が生活している地域は、今のところ大災害はありません。安住の地に腰を据えられた先人達へ感謝の念を持ち、「人間は自然に支配されている」という事を忘れずに生活しなければなりません。一方では、自分の身勝手からの子供の虐待、および他人の命を奪うという悲惨な事件も起こりました。そんな中で「優太ちゃん」の救出は、人の命は地球より重い事を証明してくれました。被災された方は、大変勇気づけられたと思います。このような暗い話題の反面、明るい話題もたくさんありました。アテネオリンピックで日本選手、アメリカではイチロー、松井選手等が大活躍し、沈滞気味の日本国民を勇気づけてくれました。町内では、昨年5月に「知事と気軽にトーク」で國松知事さんが来られ意見交換をした後、知事さんより「肥田町は歴史ある郷だ」と言われ大変感動しました。あらためて郷づくりの責任の重さも感じています。また、8月には肥田町の子供達を対象に川、田んぼ水路の生き物観察会が開催されました。今の子供達にとって、夏休みの思い出の良き一日になった事と思います。心身共に大きく成長してくれるよう願っております。本年秋の収穫後「肥田町の土地は肥田で守る」という事を基本に強い意志で取り組んで参りました圃場整備事業も、農業対策委員長をはじめ、各関係部局委員の日夜の努力と町民皆様のご協力のおかげで第一期工事着工の運びとなりました。今後共に、町民皆様の深いご理解とより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。先人より受け継いだ美田をさらにグレートアップして次の世代へ残す事が私達の役目だと思っています。また、隣組制度を大いに活用することでお互いに助け合い、地域の連帯感を強め、他人の生活も大切にしながら、さらに、歴史の重みに押し流されないように町民一丸となって立派な郷づくりを努力し、「肥田に住んでよかったな」と言われるような自然豊かな歴史あるふるさと肥田町を次の世代に引き継ぐことが我々の使命だと思っております。

最後になりましたが、本年が皆様にも肥田町にとっても良い年でありますよう、ご祈念申し上げますと共に皆様のご健勝とご多幸をお祈りして年頭の挨拶と致します。

おめでとう
ございます

益々のご発展を

お祈り申し上げます。

(敬称略・順不同)

成人

昭和59年生

元持直美 父：正行
矢守奈津子 父：貫一
鵜野三知留 父：功
藤野朋哉 父：隆司

古希

昭和11年生

鵜野清子
元持安栄
薩摩三和子
辻野治男
薩摩芳子

喜寿

昭和4年生

筒井美智子
藤野智恵子
山本笑子
山岸美佐子
森野勝

傘寿

大正15年生

滝野千代
藤野よし江
薩摩

このたびは還暦、米寿、白寿に
該当者ありません。



2005 平成17年 成人の日を迎えて

元持直美 父：正行

皆様、明けまして
おめでとうございます。
私は、自分の夢に
向かって頑張っています。二十歳を迎え、自分自身の行動に責任がもてるように、努力していきたいと思っています。これからもう一歩頑張りたいと思います。

藤野朋哉 父：隆司

皆様、明けまして
おめでとうございます。
まだ実感はありませんが、またひとつ
自分の責任の重さが大きくなったと
思います。これからも自分らしさを大
事にし、今まで通り過ごしていけた
らと思います。

矢守奈津子 父：貫一

新年明けまして
おめでとうございます。
小さかった私も、
皆様に支えられ、なんとかここまでく
ることができました。日々感謝と反省
を忘れずに、一日一日を大切に生きて
いきたいと思っています。これからもど
ぞよろしくお願いいたします。

鵜野三知留 父：功

新年明けましてお
めでとうございます。
私は、高校を卒業
後すぐに社会人とな
りました。社会人になったとはいえ、ま
だ若いからということでご甘えが許され
ていますが、これからは一人の大人
ということをお自覚し、責任ある行動を
取ってまいります。

謹賀新年

新春を寿ぎ 皆々様の益々の
ご健勝ご多幸をお祈り申し上げます
旧年中は格別のご協力を賜り
有難うございました
本年も一層のご支援をよろしく
お願い申し上げます

平成十七年 元旦



農業対策委員会 山岸 長兵衛
まらづくり委員会 青木 一雄
福寿会 元持 四郎
婦人会 薩摩 由里子
中学校委員 矢野 京子
こども会 森川 幸彦
カンガルークラブ 高瀬 英彦
消防自警団

新春冠句

稲枝冠句 千鳥会会員

・新成人 磨けば大器

宝もの

青木 徳男

・松の内 交わす年詞も

晴れやかに

藤野 秀太郎

・鈴の緒を 振って届くか

世の平和

森野 勝

お誕生おめでとうございます

(平成16年内)

岩尾 響さん

お父さん…孝さん

藤野 雅弘さん

お父さん…喜昌さん

鵜野 太輔さん

お父さん…隆清さん

健やかなご成長を祈っています



10月31日 肥田町文化祭 自治会



10月 消防訓練風景 自治会



12月12日 ボランティアサークル 和み会の集い

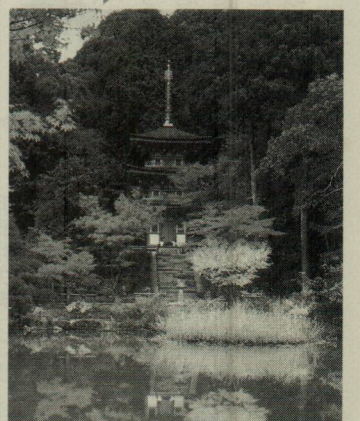


11月14日 敬老会風景 自治会

随想

私の浄瑠璃寺

武田 進



晩秋の一日、親しい友達と久しぶりに浄瑠璃寺を訪ねた。バスを降りて参道を行くと、奈良の大寺とはずいぶん雰囲気異なる小ぢんまりとした門が見える。ここまで来ると必ず思い出されるのが堀辰雄著「浄瑠璃寺の春」の一節「二時間余り歩きつづけた後、やっと辿り着いた浄瑠璃寺の小さな門のかたわらに丁度今をさかりと咲いていた一本の馬酔木(あせび)……である。この日は小春日和でやわらかな陽射しの参道の両側には、真っ赤なとうがらしや、柿、さつまいも等を軒にぶら下げた無人の売店がぼつぼつと並んでいた。門を入ると池を正面にして左の小高いところに三重の塔、右に阿弥陀堂が相對している。

阿弥陀堂に入り九体の阿弥陀仏の前に座ると、何故か会話もはばかられ、しんと心まで静まる。この寺は一般には九体寺と称せられ親しまれている。人間には努力や心がけなど色々の条件で、下品下生から上品上生まで九つの往生段階があるという九品往生の考え方が有る。九品全ての衆生が理想の浄土へ迎えられようとの願いから九体の如来を安置したもので、日本

もう一度、訪ねたいところ 浄瑠璃寺。

昨秋に親友と訪ねた浄瑠璃寺は、何かほっと心の安らぎを覚える美しい風景です。場所は近鉄の奈良駅からバスで二〇分、下車後歩いて一〇分。地元出身の友人、武田進さんより随想をいただきました。(藤野泰弘記)

浄瑠璃寺からは歩いて三十分程で石仏の点在する道をたどれば岩船寺、小さな山門を額縁に楚々とした三重塔が建っている。春ともなれば色々の石仏がタンポポや蓮華の中で笑みを浮かべている。初春を迎えた今頃は、浄瑠璃寺の山門脇の馬酔木の円錐の花序も大分目にとまるようになってきたことだろう。

分。地元出身の友人、武田進さんより随想をいただきました。(藤野泰弘記)

(藤野泰弘記)